

Greater Nagoya Dental Meeting
20260124-0125



審美歯科治療ガイド

まえ歯の治療を受ける前に読む本

先行販売
サイン会
開催

飯田吉郎 監著 吉木雄一郎／都築優治／鬼頭寛之 著
相宮秀俊／安藤壮吾／飯田真也／押村侑希／高田智史 症例提供

患者さんにわかりやすい内容とデザインで
審美歯科治療を感覚的に理解できる

本書は、これから審美歯科治療を受けたいと考える患者さんに説明する状況で効果を発揮するガイドブックです。患者さんの抱えている審美的な歯の悩みに対して、どのような治療の選択肢があるのかを、悩みの種類別に豊富な症例写真とともに紹介し、治療に対する希望を聞き取りながら最適な治療法を選択することができるように構成されています。さらに、歯の形や色、治療で用いる材料などが治療に与える影響も詳細に解説。

□ 定価：8,800 円（本体：8,000 円＋税 10%）

□ A4 判変型 □ 96 ページ

審美歯科治療ガイド

まえ歯の治療を受ける前に読む本



監著

飯田吉郎

著

吉木雄一郎／都築優治／鬼頭寛之

症例提供

相宮秀俊／安藤壮吾／飯田真也／押村侑希／高田智史

QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社

先行販売
サイン会
開催

歯科医師・歯科衛生士必携！

チェアサイドですぐ役立つ！ 撮影・読影テクニック

パノラマ診断 パーフェクトガイド

相宮秀俊 著



上手に撮影できるコツや、よく遭遇する疾患の読影ポイント、患者コンサル、チーム医療での活用法までこれ1冊！

正常像から日常臨床頻出の異常像まで読影トレーニングに役立つパノラマを100枚以上収録！

QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社

チェアサイドですぐ役立つ！ 撮影・読影テクニック

パノラマ診断 パーフェクトガイド

相宮秀俊 著

《パノラマの撮影・読影はこれ1冊！》

パノラマエックス線写真の撮影原理から、撮影のための正確な位置づけ、異常像の見分け方、さらに診断・治療計画・患者説明への活用までを体系的に解説した実践書！ デンタルやCBCTとの使い分け（補完）もていねいに整理され、初診からメンテナンスまで、一貫した診療の質を高めるための視点が身につきます。異常像と読影のポイントをまとめた特別付録も収録！ 診断力を高めたい歯科医療従事者に必携の1冊。

□ 定価：9,900 円（本体：9,000 円＋税 10%）

□ A4 判 □ 128 ページ



QUINTESSENCE PUBLISHING

日本

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp> e-mail mb@quint-j.co.jp

大会長挨拶

第10回GNDM記念開催にあたり



大会長 飯田吉郎

2017年に、名古屋の歯科界を活性化すべく、「名古屋から世界へ!」のスローガンのもと産声を上げたGNDMも、この度10回目の開催を迎えることとなりました。

これまで参加していただいた多くの歯科医療関係者、並びに演者として登壇して頂いた先生がた、さらにはこれまで多大なご支援をいただてきた協賛企業様に感謝の気持ちを込めて、第10回記念大会並びに祝賀会を開催いたします。

記念大会にふさわしく、今考えられる最高のプログラムを準備することができました。2日間に渡って開催されるこの10th GNDMで、“学び”の体験を楽しんでいただけたら幸いです。

そして、これからもGNDMは進化し続けます。さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

実行委員長 相宮 秀俊 飯田 真也

実行委員 (50音順)

味岡 武志	安藤 壮吾	飯田 悠介	大島 弘幹
押村 侑希	鬼頭 寛之	近藤 智裕	後藤 敏文
高嶋 俊裕	高田 智史	月星 太介	西尾 いづみ
野原 栄二	長谷川 龍貴	松浦 貴斗	水野 裕樹子
吉木 雄一朗			

20260124(SAT) タイムテーブル

Day1 [20260124/sat 13:00~]

13:00~14:20 (80分) SSRG セッション【Next Speaker を探せ!】

15:00 Opening remarks

セッション① 15:05 ~16:35 (90分) 座長: 飯田吉郎 松浦貴斗 演者: 石川知弘 大月基弘
【インプラント周囲炎の理解と対応 これまでとこれから】

セッション② 16:45~17:45 (60分) 司会: 吉木 雄一朗 飯田 悠介
【Road to Yokohama ケースプレゼンテーションチャレンジ 上位入賞者 6 名による口頭発表】
井貫幸一・牛窪建介・木村慶宏・高橋貴啓・鶴田剛士・古橋広樹

(敬称略)

[20260124/sat 18:15~] 記念祝賀パーティー

20260125(SUN) タイムテーブル

Day2 [20260125/sun 9:00~]

9:00 Opening remarks

セッション③ 9:05~10:35 (90分) 座長: 吉木 雄一郎 演者: 青島徹児 岩田淳 南野卓也
【補綴修復のトレンドと未来像~The Future of Prosthodontics: A Global Dialogue~】

10:35~ 技工士アワード 愛知学院大学歯科技工専門学校

セッション④ 11:10~12:10 (60分) 座長: 安藤 壮吾 演者: 鈴木 宏樹 松村 香織
【口腔機能低下症を支える~高齢者歯科医療のパラダイムシフト~】

セッション⑤ 13:10~14:40 (90分) 座長: 相宮 秀俊 演者: 北島 一 尾野 誠 小川 雄大
【歯周組織再生療法の挑戦と進化 -10年の歩みとこれからの未来予想図-】

セッション⑥ 15:00~16:10 (70分) 座長: 月星 太介 演者: 月星 光博 月星 陽介
【月星家の自家歯牙移植 -進化の過程と未来の展望-】

16:10~16:20 Road to Yokohama ケースプレゼンテーションチャレンジ結果発表

16:20 Closing remarks

メインホール

株式会社 ジーシー / 昭和薬品

局所麻酔の新しい選択肢
セプトカインの有用性と活用法のポイント

2026.1.25(SUN)

12:30

13:00

ランチョンセミナー

DHセッション会場

株式会社エーゼット / 安藤壮吾

ブルーラジカルが切り拓く
歯周病治療の新時代

DHセッション 2026.1.25(SUN) 司会・座長: 近藤智裕 西尾いづみ

9:00 Opening remarks

セッション① 9:05~9:55 (50分) 演者: 斎田寛之
【デンタルX線写真から読み解く読影と診断】

セッション② 10:10~11:00 (50分) 演者: 片山奈美
【歯科衛生士の臨床力~SRPにおける根面触知の真価~】

セッション③ 11:20~12:10 (50分) 演者: 鈴木隆太郎
【ペリオ心理学~心理学を応用した"伝わる!"歯周基本治療~】

セッション④ 13:20~14:10 (50分) 演者: 菊池友香
【DHが知っておきたい、臨床で活かせる全身疾患の検査値】

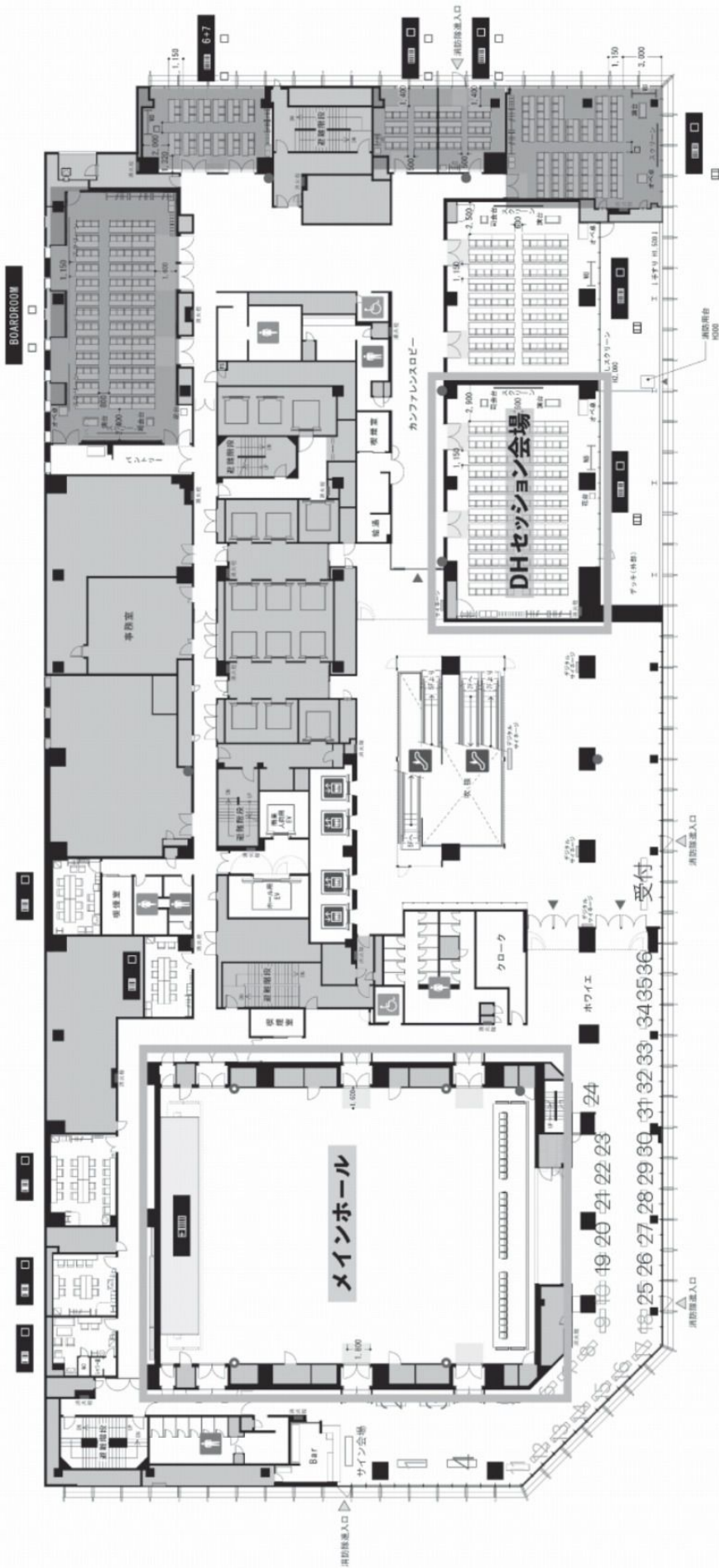
セッション⑤ 14:30~15:20 (50分) 演者: 柴原由美子
【じぶん改革・2026~いま必要な5つの力~】

(敬称略)

[プラチナ協賛企業]



会場マップ & 協賛企業一覧



プラチナ

- 2. 株式会社モリタ
- 3. ストローマン・ジャパン株式会社
- 4. デンツァー・ジャパン株式会社

ゴールド

- 1. クインテッセンス出版株式会社
- 5. 株式会社フォレスト・ワン
- 6. 株式会社ゼロメディカル
- 7. 株式会社医療情報研究所
- 8. 株式会社エボスカード
- 9. エンビスタジャパン株式会社
- 10. 株式会社GENOVA
- 11. 株式会社ジーシー
- 12. ジンガイ・ジャパン合同会社
- 13. 株式会社ビーエスエー・サクラ
- 14. 京セラメディカル株式会社
- 15. ガイストリッヒファーマジャパン株式会社

シルバー

- 16. 株式会社ガイドデント
- 17. ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
- 18. 株式会社茂田田商会
- 19. 科研製薬株式会社
- 20. 株式会社OSSTEM JAPAN
- 21. 株式会社ストランザ
- 22. 朝日レントゲン工業株式会社
- 23. 株式会社ブラネット
- 24. 旭田化学工業株式会社
- 25. 株式会社松風
- 26. カボプランメカ ジャパン株式会社
- 27. 株式会社モリタ
- 28. アサヒブリック株式会社
- 29. 株式会社ヨシダ
- 30. タカラベルモント株式会社
- 31. 日本メディカルデクノロジー株式会社
- 32. 株式会社メディカルプログレス
- 33. 株式会社オビックス
- 34. AND GO DESIGN株式会社
- 35. 株式会社スマートブラックテクノロジージャパン
- 36. 株式会社アタラス

Next Speakerを探せ！

丸山優

岡本歯科医院

演題

【Decision-Making for Direct vs Indirect Restorations for Diastema Closure】

幸田洋明

おしむら歯科・こども矯正歯科クリニック

演題

【Light & Beauty— 若手臨床家における症例写真の重要性 —Mastering the Art of Dental Photography】

前迫真由美

愛知学院大学歯学部保存修復学講座

演題

【ライフステージから考える MI 審美修復—ホワイトニング × ラミネートベニア—】

若杉俊通

W DENTAL CLINIC

演題

【審美領域における補綴前処置として歯周外科を行った一症例】

飯田悠介

月星歯科クリニック

演題

【上顎臼歯部に対する自家歯牙移植に矯正的挺出を併用し顎提の回復を行った一症例】

協賛

医歯薬出版株式会社
株式会社デンタルダイヤモンド社
クインテッセンス出版株式会社

インプラント周囲炎の理解と対応～これまでとこれから～



石川
知弘
先生

略歴

1988年 広島大学歯学部卒
1996年 石川歯科開設
2008年 5-D Japan 船登彰芳、北島一、福西一浩、南昌宏 と共に設立

所属

5-D Japanファウンダー 日本臨床歯周病学会指導医 日本歯周病学会会員
日本口腔インプラント学会専門医 アメリカ歯周病学会会員
AO(Academy of osseointegration)会員 ヨーロッパ審美歯科学会アフィリエイトメンバー
OJ(Osseointegration Study Club of Japan) 相談役
静岡県口腔インプラント研究会 相談役



大月
基弘
先生

略歴

1999年 広島大学歯学部歯学科卒業
1999年 大阪大学歯学部付属病院勤務
2002年 赤野歯科医院勤務 分院長歴任
2012年 イエテボリ大学大学院歯周病学科専門医課程卒業
2013年 DUO デンタルクリニック院長
2018年 大阪大学歯学研究科口腔科学専攻 歯学博士
2023年 広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室 客員講師

所属及び所属学会等

ヨーロッパ歯周病学会:歯周病/インプラント専門医(European Federation of Periodontology認定)
日本歯周病学会:専門医 日本臨床歯周病学会:認定医/歯周インプラント認定医
日本口腔インプラント学会会員/ITIメンバー スカンジナビアンデンティストリー主宰

【座長】 飯田吉郎 松浦貴斗

抄録

インプラントの併発症としてインプラント周囲病変が注目され始めて久しい。数多くの研究・調査からリスクインディケーターの同定や治療法の確立がなされてきたが、有病率や治療の成功率に関して大きな変化がないのがこれまで10年の現状である。しかし、非外科的治療の限界やフィクスチャー表面による除染の可否など解明されつつあることも多く、さらに先進的なデブリッドメント方法や硬軟組織再建術の報告が活発化し、確実に分野としての発展を見せている。本講演ではインプラント周囲病変に対する病因論を整理していくとともに、外科的治療法を提示していく。また「そのインプラントは撤去か？救いに行くのか？」という問いに対してディスカッションしていく。



井貫幸一 先生

[いぬきデンタルクリニック]

デジタルとアナログを融合し補綴装置を作製した症例

本講演では、上顎前歯部のカリエス、不良補綴装置および臼歯部の欠損部に対して矯正治療を行なった後、補綴修復処置およびインプラントを使用し治療を行なった症例について供覧させていただく。また最終補綴装置の作製の過程でデジタル技術とアナログ技術を融合させることで、補綴装置の精度を担保しながら、プロビジョナルの状態を正確に踏襲した手法についても供覧させていただく。



牛窪建介 先生

[うしくぼ歯科]

自家骨移植の新潮流 - Khoury technique の臨床 -

過去、インプラント治療における骨造成法として、自家骨ブロック移植が率先して行われる時代があった。しかし、手術侵襲の大きさや吸収の問題から、現在ではGBR (Guided Bone Regeneration) 法が主流となっている。GBR 法は低侵襲かつ扱いやすい点で普及しているが、しばしば骨質の低下や治癒不全といった課題が問題視される。そのため、近年では骨質や生着の確実性を求め、自家骨の有用性が再認識され、GBR 法にも自家骨の併用が推奨されている。本講演では、Dr.Khoury による独自に発展してきた移植法を臨床例を交えつつ紹介する。



木村慶宏 先生

[いろいろ歯科・こども歯科室]

外科的歯内療法を応用した水平的歯根破折歯の保存治療

近年、歯を保存するための様々な術式によりう蝕や歯周疾患により歯を失うリスクは少なくなった。一方、歯根破折においては依然として、抜歯後に欠損補綴治療が選択されることが少なくない。

破折状況や患者の年齢、他残存歯の状態など様々な要因によって破折歯の治療方針は変わると考えるが、本症例では水平的な歯根破折歯に対して保存治療を選択した。

患者の上顎左右中切歯には過去の外傷による水平的な歯根破折と、二次的な感染による病変が認められた。それぞれ異なった病態を呈する2歯に対して、外科的処置を併用した保存治療により良好な予後が得られると判断した根拠とその経過を供覧する。

**高橋貴啓 先生**

[岸和田おとなこども歯科]

**上下無歯顎患者に外科的前処置を行い
上顎総義歯・下顎2IODを製作した1症例**

パウチャーらの著書には“外科的補綴前処置を積極的に行うことは稀である。考慮すべきは外科的処置を行った結果、良好な補綴的予後が得られるかどうかである”と記されている。私もこの見解に首肯するが、明らかなベネフィットが外科的な侵襲を大きく上回るケースにおいては、外科的前処置は劇的に状況を変えることのできる有効な手段だと考えている。また、処置を行うタイミングも重要である。今回の発表では上下総義歯製作に先立ち外科的な補綴前処置を行ったのちに、上顎総義歯・下顎2IODを製作したケースを供覧させていただく。

**鶴田剛士 先生**

[鶴田歯科医院]

A Biomimetic Approach to Remaining Teeth in Full-Mouth Esthetic Rehabilitation The Novel Strategy “Transforming the Bio-base”

本症例は、Biomimetic Restorative Dentistry (BRD) の概念を応用した Full Mouth Esthetic Rehabilitation である。接着強度の最大化と内部応力の最小化を基盤とする Biobase を全顎的に構築し、審美治療を行った。審美的要件に応じて Biobase 形態を可変的に設計した点に特徴がある。術中、クラックの存在およびエナメル・象牙質の量的・質的比率を評価し、歯質保存を優先した修復戦略を採用した。治療後、機能的および審美的観点の双方から高い患者満足度が得られた。歯質構造を治療判断へ組み込む本アプローチは、国内において臨床的な位置づけが十分に整理されておらず、全顎審美治療における新たな可能性を示すものと考えられる。

**古橋広樹 先生**

[古橋歯科]

象牙質形成不全症患者の中長期的予後を見据えて咬合再構成を行なった一症例

近年、医学の進歩により多様な疾患を持ちながらも生活することが可能となり歯科においても稀な疾患や、それらに対する治療法を学ぶ必要性が増えていると感じている。今回は象牙質形成不全症の患者に対して咬合再構成を行なった症例を報告する。初診時、20歳男性、入れ歯を入れてほしいとの主訴で来院された。全顎的に歯冠が崩壊しており、レントゲン像や歯冠形態等から象牙質形成不全症と診断した。患者の年齢やこの疾患でインプラント治療の予後があまりよくないという報告もあるため、埋伏歯の再殖や移植を用いて咬合再構成を行った。稀な疾患に対して熟考しながら治療を行ない、患者のQOLの向上に繋がる結果を得ることができたと考えている。

補綴修復のトレンドと未来像 ~The Future of Prosthodontics: A Global Dialogue~

【演者】



青島徹児
先生

略歴

1995年 日本大学歯学部卒業
1995年 同歯科補綴学教室Ⅲ講座入局
2002年 青島デンタルオフィス開業

【演者】



岩田淳
先生

略歴

2005年 鹿児島大学卒業
2009年 大阪大学歯学部大学院卒業
2016年 岩田歯科医院開業

【演者】



南野卓也
先生

略歴

2011年 大阪大学歯学部卒業
2016年 大阪大学大学院歯学研究科修了
2019年 医療法人一祥会Nao歯科・矯正歯科 院長

【座長】 吉木 雄一郎

抄録

近年、接着技術の進歩や歯科材料の著しい発展により、補綴修復治療の概念は大きく変化してきている。従来、補綴と修復は明確に区別されてきたが、この10年でその境界は徐々に曖昧となり、低侵襲で歯質保存を重視した治療戦略が主流となりつつある。本セッションでは、「補綴修復のトレンドと未来像」をテーマに、3名の演者による講演とディスカッションを通じて、現代の補綴修復治療を多角的に考察する。特に前歯部修復治療に焦点を当て、ダイレクトおよびインダイレクト修復の選択基準、接着修復の10年予後、マテリアル選択の変遷について議論を深める。また、デジタル技術やAIの臨床介入が診断、設計、治療計画に与える影響にも触れ、今後の補綴修復治療が進むべき方向性を展望する。日常臨床に直結する視点から、補綴修復治療の現在地と未来を共有する場としたい。

口腔機能低下症を支える ～高齢者歯科医療のパラダイムシフト～

【演者】

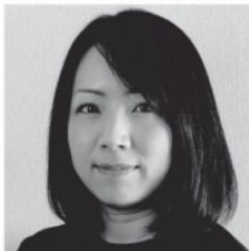


鈴木宏樹
先生

略歴

2001年 福岡歯科大学歯学部卒業
2010年 医)井上会 篠栗病院 歯科医長
2021年4月 博士号取得(歯学)
2023年12月 公立八女総合病院歯科口腔外科 補綴担当非常勤
2023年12月 医)福和会 高齢者歯科診療部部長

【演者】



松村香織
先生

略歴

2005年3月 九州大学歯学部卒業
2011年3月 九州大学大学院修了
2016年4月 九州大学病院顎口腔外科助教
2018年4月 公立八女総合病院歯科口腔外科医長
2024年4月 公立八女総合病院歯科口腔外科部長

【座長】 安藤 壮吾

抄録

超高齢社会を迎え、口腔機能低下症はフレイルや低栄養、要介護状態に移行する前段階として、日常臨床においても無視できない病態となっている。しかし、これまでの高齢者歯科医療は、う蝕や歯周病といった個別疾患の治療や、咀嚼・嚥下機能の回復を目的とした対応が中心であった。しかし近年、口腔機能低下症を早期に把握し、継続的に支えていく視点での重要性が指摘されている。本講演では、口腔機能低下症の診断項目と全身状態との関係を整理したうえで、咬合支持咀嚼能力、舌圧、嚥下機能の改善が、食事内容や日常生活にどのような変化をもたらすのかを検討する。また、補綴治療や歯周治療、口腔機能訓練を組み合わせた歯科的介入に加え、歯科衛生士や管理栄養士、言語聴覚士との連携による口腔機能支援への実際を症例を通して紹介する。高齢者歯科医療は、疾患を治す医療から、口腔機能低下症を支える医療へと役割を広げつつあり、その未来が高齢期の生活の質や健康寿命にどのように寄与するかを考察する。

歯周組織再生療法の挑戦と進化 -10年の歩みとこれからの未来予想図-

【演者】



北島
一
先生

略歴

1987年 広島大学歯学部卒業
1990年 静岡県磐田市 北島歯科医院開業
2008年 5-D Japan(石川、福西、船登、南先生とともに)発足

【主な所属・役職】

5-D Japan ファウンダー
日本臨床歯周病学会認定医
日本口腔インプラント学会専門医

【演者】



尾野
誠
先生

略歴

2010年 朝日大学歯学部卒業
2011年 医療法人泰歯会四条烏丸歯科クリニック勤務
2018年 JIADSペリオコース常任講師
2021年 Institute for Periodontal Regenerative Therapy co-director
2024年 国際歯周形成外科協会(ISPPS) Board member
2025年 ITI study club 京都 co-director

【主な所属・役職】

JIADSペリオコース常任講師

【演者】



小川
雄大
先生

略歴

2014年 東京歯科大学卒業
2014年 慶應義塾大学病院歯科・口腔外科入局
2016年 慶應義塾大学病院歯科・口腔外科助教
2018年 浜松ペリオ・インプラントセンター石川歯科
2018年 U Dental Office Ebisu東京院長
2018年 小川歯科医院理事

【主な所属・役職】

THREEE.主宰

【座長】 相宮 秀俊

抄録

現在、歯周組織再生療法は、完成された治療とはいえず、臨床の現場で問い続けられ、磨き続けられてきた分野である。歴史から学び、現在の実践を見つめ直し、その先にある未来を描くことこそが、再生療法を次のステージへ進める原動力となる。

本セッションでは、歯周組織再生療法の歩みを振り返りながら、日常臨床で行われている治療を基盤に、これからの未来予想図を考察する。再生療法の出発点であるGTR法は、現在では主流の術式ではないものの、血餅の安定やスペースメイキングといった基本概念は、現代の再生療法に確実に受け継がれている。

近年は、これらの考え方を背景に、低侵襲フラップを用いたアプローチが広く実践され、軟組織への侵襲を最小限に抑えながら再生環境を整えることが重視されている。再生療法を前進させるためには、生物学的原理を深く理解し、それと調和した治療戦略を構築する視点が欠かせない。

特に歯内-歯周疾患や根分岐部病変など難易度の高い欠損においては、骨欠損形態や付着歯肉の有無に加え、矯正治療による歯の移動の利用や歯根膜の存在を考慮することで、再生療法の適応や可能性はさらに広がる。

本セッションでは、こうした多角的視点を踏まえ、歯周組織再生療法の現在地とその先について議論を深めたい。

月星家の自家歯牙移植 —進化の過程と未来の展望—

【演者】



月星光博
先生

略歴

1977年 大阪大学歯学部卒業
1981年 京都大学医学部大学院 卒業
2009-2010年 国際外傷歯学会会長
2015年 東北大学歯学部臨床教授(2018年退任)
2018年 Jens Ove Andreasen Lifetime Achievement Award in Dental Traumatology受賞

【演者】



月星陽介
先生

略歴

2013年 東北大学歯学部卒業
2016年 大阪大学歯学部大学院 顎顔面口腔矯正学講座 入学
2020年 大阪大学歯学部大学院 顎顔面口腔矯正学講座 卒業
2020年—2021年 The University of Texas Health Science Center at Houston, School of Dentistry,
Department of Periodontics and Dental Hygiene, Preceptor program在籍
2022年 (医)月星歯科クリニック勤務

【座長】 月星 太介

抄録

本講演は、一人の臨床家の迷いと挑戦から始まり、やがて世代を超えて受け継がれていく自家歯牙移植の軌跡を描くものである。演者である父・月星光博は、開業当初、歯周治療や外傷歯学が十分に体系化されていない時代に臨床の限界に直面し、試行錯誤の中で移植治療に可能性を見出した。国内外で発表を重ねるも、当初は時代遅れと見なされ、聴衆ゼロの講演を経験するなど厳しい評価にさらされた。しかし創傷治癒を軸とした診断と、適応症を厳密に見極めるプロトコルを積み重ねた結果、その臨床哲学は次第に国際的評価へとつながっていく。次男・陽介は、その思想を継承しつつ得意分野であるデジタルシミュレーションや3Dレプリカをリンクさせることで、経験に依存していた移植治療を可視化し、新たな地平を切り開いた。座長として私は、父光博が築いた治療の本質を整理し、変えてはならない原理と、進化してきた技術をプロトコルを用いて提示したい。さらに本講演では、移植治療が今後どのように臨床の中で位置づけられるべきかを問い直す。自家歯牙移植の正しい発展と次世代への継承を考える契機となることを願っている。

デンタルX線写真から読み解く読影と診断

【演者】



齋田寛之
先生

略歴

2002年 東京医科歯科大学歯学部卒業
2008年 日本歯周病学会 歯周病専門医
2013年 日本臨床歯周病学会 認定医
2015年 日本歯周病学会 指導医
2018年 東京医科歯科大学(現東京科学大学)臨床教授
2020年 日本臨床歯周病学会 指導医

抄録

デンタルX線写真は“生体を映す窓”とも言われ、カリエスや根尖病変、骨欠損のみならず、歯周病の進行性や歯槽骨の炎症状態、歯の動揺に関わる多くの情報を含んでいます。視診では捉えられない歯周組織内部の病態を正しく読み取ることが、歯周治療を成功に導く上で不可欠です。本講演では、診断に必要な規格性の高いデンタルエックス線写真の撮影法を整理するとともに、歯周治療に活かすための読影のポイント、診断に迷いやすいデンタルエックス線像の読み方や診断の進め方を症例とともに解説します。日常臨床で歯科衛生士のみなさんが自信をもってデンタルエックス線写真を評価し、診療に活かすための視点を共有したいと思います。

歯科衛生士の臨床力～SRPにおける根面触知の真価～

【演者】



片山奈美
先生

略歴

1992年 アポロ歯科衛生士専門学校 卒業
1992年-95年 目白若林歯科・歯周病研究所 勤務
1995年-2020年 渋谷区・村松歯科 非常勤(出産退職、非常勤復帰、常勤を含む) 勤務
2000年-2015年 公益社団法人埼玉県歯科衛生士会会員 地域歯科保健活動 勤務
2009年-現在 埼玉県・斉田歯科医院 非常勤を中心に
2019年-現在 片山塾(katayamajuku-nami)主宰
2020年-2022年 中野区・アポロ歯科診療所 非常勤
2022年-現在 千代田区・塚原デンタルクリニック 非常勤

【主な所属・役職】

2009年 日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士
2015年 日本歯周病学会認定歯科衛生士
2022年 日本歯科医学振興機構臨床歯科麻酔認定歯科衛生士

抄録

SRPは、教科書どおりに器具を操作するだけでは十分な臨床成果を得ることが難しく、「触知の感覚」が大きく影響します。本講演では、SRPにおける根面触知の基本的な考え方から、歯石探知のみならず、どのように感覚を身につけていくのかを理論的にわかりやすく解説します。根面の性状や歯石の存在をどのように感じ取り、次の操作へと結びつけていくのか、触知のプロセスを整理してお伝えします。

また、日常臨床におけるデンタルX線写真を活用した視点や、SRPを行う際の実践しやすい工夫についても紹介します。経験年数に関わらずSRPに対する不安を軽減し、歯科衛生士はもちろん、若手歯科医師にとっても臨床力向上につながるSRPの本質を改めて考える機会となることを目指しています。

【司会・座長】 近藤智裕 西尾いづみ

ペリオ心理学 ～心理学を応用した”伝わる!”歯周基本治療～

【演者】



鈴木隆太郎
先生

略歴

2014年 福岡県立九州歯科大学歯学部 卒
2014年 愛知医科大学病院歯科口腔外科
2016年 医療法人尚志会林歯科医院勤務
2022年 非常勤歯科医師として4医院勤務
2024年 愛知県 東浦にて開業

【主な所属・役職】日本臨床歯周病学会 認定医 Study Session on Stream (SSS) Co-Director
Next Generation Dental Salon (NGDS) 代表 Tokai Next Generation (TNG) 理事
日本糖尿病協会 認定登録歯科医師 日本小児口腔発達学会 学術委員、口腔機能支援士
日本口育協会 認定口育士 日本歯周病学会 会員 日本口腔インプラント学会 会員
日本障害者歯科学会会員

【司会・座長】 近藤智裕 西尾いづみ

抄録

近年、歯周治療の標準化と科学的根拠の共有が国際的に求められており、EFP(ヨーロッパ歯周病学会)ガイドライン2020はその方向性を示す重要な指針となっています。ガイドラインの中で取り上げられている心理学的アプローチとして“Motivational Interviewing”がありますが、その中では同アプローチはUnclearとして扱われ、有効かどうかはまだ不明で更なる研究が必要とされています。しかしながら歯周基本治療は患者の行動変容が必須な治療であり、そのためには対患者関係が非常に重要であることは言うに及ばず、その行動変容のための学問が心理学であるという事実から私の歯周病臨床の中では、このようなアプローチは大変重要であると感じています。情報化社会においてSNSなどのデジタルコミュニケーションの増加と共にリアルコミュニケーションの量が減り、特に経験が浅い歯科衛生士、歯科医師にとっては年配の患者や気難しい患者とどのように接したら良いかわからないという声もよく耳にすることが増えてきたように感じます。本講演では患者の行動変容に役立つ心理学的アプローチと患者の“人”の要素に寄り添うための向き合い方に関して、押さえておきたい基礎的なアプローチを供覧します

DHが知っておきたい、臨床で活かせる全身疾患の検査値

【演者】



菊池友香
先生

略歴

2013年 岡山大学歯学部 卒業
2018年 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 博士課程 修了
2019年 日本歯科麻酔学会認定医 取得
2020年 歯科麻酔専門医 取得
2022年 岡山セデーションラボ 開業
2026年 株式会社Volksdent 設立

【主な所属・役職】

日本歯科麻酔学会 歯科麻酔専門医

【司会・座長】 近藤智裕 西尾いづみ

抄録

歯科臨床では、患者さんの全身状態を的確に把握することが安全な処置の第一歩です。本講演では、歯科衛生士のみならず、日常の診療で無理なく活用できる「全身疾患に関連する検査値」をわかりやすく整理します。血液検査、糖尿病や腎疾患、肝機能、抗凝固薬治療中の患者の指標など、特にチェアサイドで判断に迷いやすい項目を中心に、どの数値をどう読み取り、歯科医師と共有すべきかを解説します。また歯科麻酔専門医としての視点から、歯科臨床における偶発症対応や鎮静についてもご紹介します。本講演をきっかけに、“検査値の見方”を身近に感じていただき、明日からの臨床で活かしていただくと幸いです。

じぶん改革・2026 ～いま必要な5つの力～

【演者】



柴原由美子
先生

略歴

1981年 長崎県長崎市生まれ
2005年 九州大学歯学部卒業
2005年 くらとみ歯科クリニック(福岡県北九州市)勤務
2014年 フリーランス歯科医師として複数の医院に勤務 医院研修、企業研修等に從事
2025年 柴原歯科医院(長崎県長崎市)勤務

【主な所属・役職】 日本顎咬合学会 認定医 WDC会員

【主な著書】

「心をつなぐコミュニケーション～歯科医院あるあるお悩み解決ヒント集～」

ヒョーロン・パブリッシャーズ,2019

『歯科衛生士』クインテッセンス出版,2021年10,11月号 ・2023年4月,5月号

【司会・座長】 近藤智裕 西尾いづみ

抄録

歯科はチーム医療。それぞれの持ち場で1人ひとりの力が発揮できると医院も輝き、患者さんをより健康へと導くことができます。一方で「自分らしさを活かせていない」「もっと成長したいけれど、どうすれば良いか分からない」といった悩みもよく耳にします。

毎日イキイキと笑顔で働き、周囲の信頼も厚いプロフェッショナルな人は、単なる技術だけでなくコミュニケーション能力や柔軟性、自身を整える力を備えています。

そこで今回は、心理学や脳科学、東洋医学の中から自身のアップデートに必要な5つのヒントをお伝えします。思考を変える力、ストレスをコントロールする力など、これまでとは違った視点を持てると自身の成長も加速します。2026年、自分らしさを輝かせるために一緒に学びましょう！



Introducing Primescan[®] 2

Powered by DS Core[®]

BEYOND WIRELESS

クラウドネイティブ口腔内スキャンソリューション

Primescan 2は単なるワイヤレススキャナーではありません。
クラウドに直接接続され新たなワークフローを確立するワイヤレススキャナーです。

※Primescan 2にはDS Coreの有料サブスクリプション登録が必要です。



デンツプライシロナ株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル
www.dentsplysirona.com

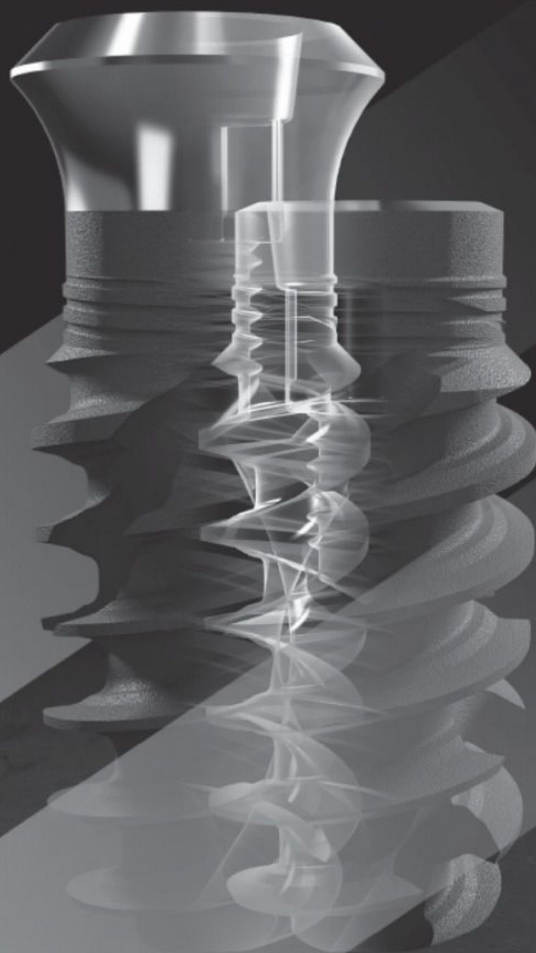
一般的名称: デジタル印象採得装置 販売名: プライムスキャン 2 承認番号: 30600BZX00198000 管理医療機器 特定保守管理医療機器

 **Dentsply
Sirona**

STRAUMANN® X-LINE

TLX & BLX IMPLANT SYSTEM

TLX インプラント登場！
ストローマンの伝統と、IMMEDIACY の融合。



小さく、汎用性が高く、高出力の
歯科用ペン型半導体レーザー

Diode Laser **ULTRAFAST**

歯科用ペン型半導体レーザー ウルトラファスト

特定診療報酬算定医療機器

- 口腔粘膜処置(1口腔につき)
- レーザー機器加算1
- レーザー機器加算2
- レーザー機器加算3



コードレス
タイプ

Size
全長: 163mm
直径: 22mm
重量: 100g

◎ファイバチップ除く

Product detail

歯科用ペン型半導体レーザー

ULTRAFAST 商品ページ

ULTRAFASTの詳細は以下のURL
または右のQRコードより商品ページをご覧ください。

URL <https://www.forest-one.co.jp/ultrafast/>



Contact

フォレスト・ワン公式LINE

ご注文・お問い合わせは公式LINEでも受け付けています。
お気軽にお問い合わせください。



Interview movie ユーザーインタビュー動画



Q2. 多くの歯科用レーザーがある中でULTRAFASTに選ばれる理由は何ですか？

ULTRAFASTの良いところは非常にコンパクトな点で



《取材協力》奥田浩規先生(奥田歯科医院)

URL <https://youtu.be/CAHOBwzvP48>

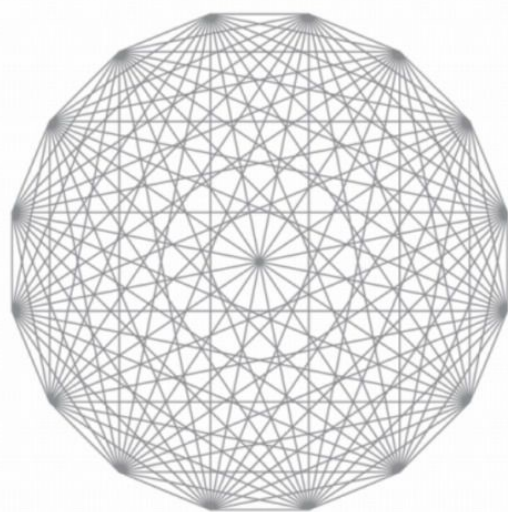
販売名: ダイオードレーザー ULTRAFAST / 一般的名称: ダイオードレーザー / 医療機器分類: 高度管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器 / 医療機器製造販売承認番号: 30600BZX00268000

お問い合わせ先

Forest-one
www.forest-one.co.jp

株式会社フォレスト・ワン

〒274-0825 千葉県船橋市前原西2丁目19-1 津田沼ビート4階
TEL: 047-474-8105 FAX: 047-474-8106 MAIL: info@forest-one.co.jp



Gaudi Clinical

Leading the Renaissance in Medicine

歯周病＜歯周組織再生＞治療へ向けた新たな選択肢として

再生医療を提供する全国の医療機関様を支える “プラットフォーム”へ

細胞加工製造を
地域分散型CPCで受託
質高く価格を抑えて提供



地域内で完結する再生医療流通網を構築し、輸送コストなどを低減しながら、アカデミアで検証を終えた再生医療を厳格な品質管理のもとで製造しています

再生医療提供における
必要業務を包括支援
伴走型アウトソーシング



医療機関様が再生医療を提供するうえで必要な行政手続き/原料搬送/細胞保管/細胞調整/品質試験/スケジュール調整等の業務負担を軽減します

安確法で求められる
データの収集・解析
安全性・妥当性の評価へ



製造データ・治療データ・患者主観評価を集約し解析する中で、再生医療を用いた治療の妥当性を検証し、より効果の高い治療としての発展性を目指します

※安確法：再生医療等の安全性の確保等に関する法律

再生医療の導入をご検討されているクリニック様は
ぜひお気軽にお問い合わせ・ご相談ください